

地域イベントを持続させるためのメカニズム（「山居バル」を事例に）

菅野 郁弥

本研究は、継続的な地域イベントが開催されるまでのメカニズムを明らかにすることと、地域イベントを継続する方法を構築することを目的に、著者自身が関わった「山居バル」イベントを基に考察を行った。地域イベントのメカニズムを明らかにする方法として、バルイベント（飲食イベント）に焦点を当て、「山居バル」が開催されるまでのメカニズムと、バルイベントの典型的なケースである函館西部地区バル街を比較した。

その結果、両イベントとも集客に力を入れていたが、新規の来場者よりもリピーターの確保を求めていることがわかった。また、集客を図るためには、コミュニティの交流の促進が重要であり、そのためには、バルイベントでの出店者や、来場者とのコミュニケーションが重要であることがわかった。コミュニケーションを取らないと、開催中に生じた課題などが運営側だけでは把握しきれず、次回以降のイベントの改善につながらない。そのため、出店者や来場者の意見を取り入れるために、開催前から開催後に至るまで反省会を行うなど、ミーティングの実施が重要であることがわかった。

全体を通して、地域イベントに関わるすべての人がコミュニケーションを取り、ミーティングに活かすことにより、イベントがより良いものとなり、継続的な開催が可能になることが示された。